

保幼小中連携教育実践校園10中学校区の内容がそれぞれ判るもの

学校教育部 幼児教育センター

学校園保育所名	主な連携内容
宝塚第一中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区でめざす子ども像を共有化し、それを「のぼり」に明記し、各学校園所門前に掲げ、家庭・地域への啓発をしている。 ・良元幼稚園児とさくらんぼ保育園児が定期的な交流を行っている。 ・中学校生徒会執行部が中心となり、仁川小・良元小・光明小の6年生が授業参観・部活見学をするオープンジュニアハイスクールを実施している。 ・特別支援コーディネーターの連携を図り、子どもの様子を早い段階から互いに共有し合っている。 ・月1回の管理職連携会議が定着し、日頃から連携が取りやすい関係性を構築している。
宝塚中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の音楽会に保育園児・校区内3小学校の6年生を招待する「小学校招待合唱発表会」を開催し、あわせて中学校見学を実施している。 ・小5・6年生を対象の「部活動交流会」を実施し、中学校への期待につなげている。 ・夏季休業中に、小中学校合同で、情報交換会を行い、2学期以降の指導に役立てている。 ・学期毎の管理職連携会議が定着してきた。
長尾中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ・めざす子ども像を長尾中学校区内の保幼小中で共有し、同じ目標に向かって子どもを育てていこうとする意識化を図っている。 ・幼小合同地域防災訓練を実施している。 ・小中合同で共に学び合うカウンセリングマインド研修会を実施している。 ・中学校オープンスクールへの小6年生を招待し、中学校への期待につなげている。
西谷中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ・園小中合同研修会を年度初めに必ず実施し、西谷地域のめざす子どもの姿の共有化と学校園・地域理解を行っている。 ・園小中ふれあい大運動会を合同で実施し、連携教育の大切さを地域にアピールしている。 ・中学校の文化祭では、園小中合同合唱を実施している。 ・中学校生徒会による学校紹介や小6年生の部活動体験を行い、中学校への期待につなげている。 ・小中学校の教師間の授業を互いに参考にしながら教育課程の理解を図っている。
宝塚中・光が丘中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職に加えて教科等の担当者も含めた連携会議を開催している。 ・30年度から新たに小中で道徳科・外国語科の連携を始めている。 ・中学校体育科教員による小学校出前授業は例年好評である。
高司中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の管理職連携会議では、学校園所の実態から、情報共有できる場となっている。 ・わかかさ保育所、未成幼稚園、さくら保育園の園児が、同じ小学校に就学する友達と交流をする「プレ1年生事業」を通して、小学校への関心を高めている。 ・高司小と未成小、高司小・未成小と高司中学校での互いの授業・生活参観は5年目となり、定着してきた。 ・オープンジュニアハイスクールでの授業体験や部活動体験が中学校への意欲付けになっている。
安倉中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ・2カ月の1回の定期的な管理職連携会議を通して、子どもや地域の実態を共通認識している。 ・小中学校では、連携コーディネーターをおき、定期的に担当者会を開催し、情報交換や意思統一を行っている。 ・保幼小中養護学校の職員全体で、カウンセリングマインド研修を行っている。 ・互いのオープンスクールに参加、互いの教育内容の理解をしている。
中山五月台中	<ul style="list-style-type: none"> ・連携担当者同士の連携を図っている。 ・オープンジュニアハイスクールで、体験授業と部活動見学を行うことで小学生の中学校への期待が高まっている。 ・幼小中の教職員が参加するカウンセリングマインド研修会の実施と、研修会の前に各学校園の取組を映像で視聴し合い、お互いの理解を深めている。
御殿山中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンジュニアハイスクールでは、中学校生徒会による学校紹介、宝塚小学校・すみれ小学校の6年生の中学校授業参観、部活動見学を実施した。小学生は両校児童が混ざり合っ一緒に授業を受けることができる。 ・小中の担当教職員同士の連携が深まってきている。
山手台中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回の管理職による連携会議で各学校園の現状を共有している。 ・長尾・山手台小学校栄養教諭による幼稚園児への食育指導は数年、定着している。 ・小6年生が中学校体験授業と部活動体験をしている。 ・カウンセリングマインド研修では幼小中の職員と一緒に学び合っている。